「今だけ、金だけ、自分だけ」の政治から「国民の生活が第一。」の政治へ

＼ご存知ですか!?／ 選挙の豆知識

参議院選挙の投票の仕方

参議院選には2票あります

1枚目 都道府県選挙区

選挙区の候補者名 → 都道府県選挙区

2枚目 全国比例区

全国どこでも候補者名 ※政党名も可

候補者名 → 全国比例区

個人名の多い順番で当選が決まります

結論! 全国比例区 2枚目 の投票は

個人名で!

こどもたちの未来のために

立憲民主党は全国比例代表

参院選公認候補予定者に決定!

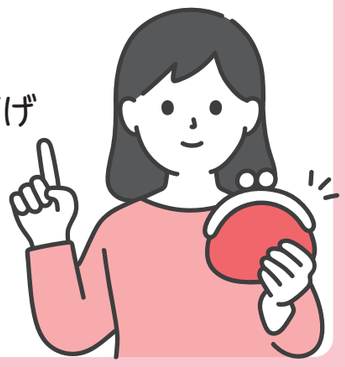
森ゆうこ

合言葉は ハンサムな2枚目な森ゆうこ!! 全国どこでも森ゆうこ!!

使えるお金(可処分所得)を増やす! 経済成長・税収増で財源確保

可処分所得を増やす→物価高対策であると同時にGDPの約6割を占める個人消費が増え景気回復につながります。

- 消費税減税
- ガソリン税暫定税率廃止でガソリン価格約25円値下げ
- 社会保険料負担軽減
- 年金の目減りストップ(年金を物価に連動させないマクロ経済スライドを一時凍結)
- 生活応援給付金創設
- 年少扶養控除復活



日本の未来を応援

- 安心して子どもを産み育てられる社会構築を最優先
- 学費ローンからの解放(返済不要の給付型奨学金を充実)
- 就職氷河期世代への応援を徹底的に行う

本来なら社会の中核として活躍するはずだった世代が、低賃金・不安定労働で希望が見出せない状態に置かれています。
この世代の人々に活躍してもらうことが日本の明るい未来を創ります。

公式サイト / ぜひお友だちに! / Instagram / X

政策

生活応援

- 地域医療を守る 病院存続に向け財政支援
- 老朽化インフラ更新財政支援で相次ぐ上下水道破損を防ぎ上下水道料金の値上げストップ
- 最低保障年金を含む年金制度改革

お米を安心して買える、作れる 食料安全保障の確立

農業戸別所得補償を復活し、進化させる
先進諸国では当たり前の所得補償で、
先進諸国では当たり前の食料自給率100%を目指す

原発ゼロ 自然エネルギー立国へ

避難計画は絵に描いた餅
大地震による家屋や道路の倒壊、
豪雪時には役に立たない
自然エネルギー立国を目指す

プロフィール

1956年4月20日生まれ 新潟市出身
新潟大学人文(旧法文)学部卒
元横越町議
元文部科学副大臣
元参議院拉致問題等特別委員長

著書にベストセラー「検察の罠」、「日本を破壊する5つの罠」

趣味:ガーデニング
(和洋折衷のローズガーデンを目指しています)
得意料理:トンカツ
(孫達は「トンカツのばあば」と呼びます)

新潟県議会議員との座談会

5月21日　於: 新潟県議会庁舎　主催:立憲民主党参議院比例第24総支部

どうなった？ 柏崎刈羽原発再稼働に関する住民投票条例

森ゆうこチャンネルで動画をご覧いただけます

森　今日は立憲民主党所属の新潟県議会議員のお三方にお越しをいただきました。新潟県議会の中で「みらい新潟」は、野党最大会派ですね。

大渕　そうですね。国政野党系ですね。

森　会派長は？

大渕　今、私が。期数が一番長いですから。

なぜ、条例案は否決された？

森　今日皆さんと座談会をさせていただきたいと思ったのは、県民の皆さんがすごく関心を持たれた柏崎刈羽原発の再稼働に関する住民投票条例。せっかく 14万3196筆という尊い署名が非常に厳格に集められ、条例案が提出されたにもかかわらず、否決をされてしまった。世界最大の柏崎刈羽原発の問題ですので、ぜひお話を聞きたいなと。

会派としてはどんな対応だったでしょうか？

大渕　会派としては、直接請求妥当だろうということで、住民投票、県民投票には賛成をいたしました。安全神話が崩壊をして、その事故を起こした事業者が（再稼働する）ということ。それと国が再稼働を県に求めてきているという、かつてない状況で、今、再稼働に向けてのプロセスが進んでいる。関心が高まってこういう声が出てくるのは当然だろうと。何よりも知事が、再稼働に当たっては、自分の考えを時期が来たら示して、その結論については県民の意思を確認すると。そのことを県議会でも、この間ずっと質問提起されてるんです。でも、はっきりと、まずその手法もそうだし、やるやらないも明らかにしないんです。

森　のらりくらりと、答弁をきちっとしないってことなんですか？

大渕　県民投票なり出直し選挙なりで確認しますよと言えば、こういうことも出てこなかったと思うんですよ。ただ、知事は知事で、（住民投票を）やるかやらないかは議会の判断なんで、やっぱり自民党が、一番数が多いところが反対して、決まってしまうのでいたし方なかったという部分はあります。

森　去年の年末に衆議院選挙があって与党が過半数割れをして、あの時に野党が結集していれば、今でも結集すればいつでも政権交代できる状況なのに、それはしていない。けれども数はそういう形になったんですが、新潟県は圧倒的に自民党が多数を占めているんですよね。どれぐらいなんでしたっけ？

大渕　県議会、3分の2は、自民党ですから。

森　どんな感じですか？

大渕　やっぱりまず半分ぐらいまで行かないと、なかなか今の状態を変えていくってことは難しいんですよね。議長選も一応立ててるんですけども、まだ全然。

再稼働YES？NO？

森　これだけ重要な問題なのに、私がニュースで見る限り、知事の言ってることが、住民投票でイエスかノーかということを問うということはそぐわないと。あれがどうしても理解できないんですけど、どうですか？

小林　私も質問の中で当然議論はしたんですけど、賛成か反対か二者択一では県民の多様な意見を集約できないという言い方なんですよ。

森　えー！

小林　有権者の方のきちっとした年齢、生年月日まで書いてある選管が確認した14万3196筆の、しかもこれは賛成反対問わず意思を表明したいという人の表れですから、それが一番の数字ですよね、県民の意思の表れですし、じゃあそれ以外に何があるんですか？と。「条件付きなら賛成とか条件付きなら反対とか、そういう意見もたくさんあるんです」と。じゃあ、それ、どうやって諮ったんですか、根拠は何ですかと。その答えは答弁しませんでした。

森　（笑）コント？

イエスかノーの答えを求められてるんですよね、国からは。

小林　再稼働に関しては、地元が同意するか、しないか、ということですから、非常にシンプル。二者択一が本来わかりやすい手法だと思いますが…。

自民党の会派からは、賛否の県民投票をやった場合の結果が、議会の自由な議論を拘束するとかですね。

一同　笑い

小林　県民を分断するとかね。賛成反対があるんですから、当然のことだと思うんですけどね。

森　土田さんどうですか？

土田　難しかったですね。私、今回質問のバッターはなかったんですけども、討論を見ていて、やるかやらないかを決めるのは、議会が多数決で決めるわけなんですけども、質問は知事にしなければいけない。条例案は知事から出てくるという立て付けの中で、知事も我々がいくら質問しても、いや、決めるのは議会側ですからみたいな感じで、責任転嫁じゃないですけど。今回の条例案の審議の中では、難しい部分だったなっていうのはありましたね。

森　でもふざけた答弁だね。やっぱりそういう答弁しても許される。つまり与党自民党が圧倒的多数だから、そんなふざけた答弁しても許されるんだね。

避難計画の実行性

小林　1つちょっと不思議に思うのは、委員会ですとか、いわゆる原発の安全性だとか避難計画だとかいう議論になったときは、これは自民党の議員からもかなり慎重論、今のままではダメだという声が出るんですよ。

なんだけども、県民投票はダメと。これは党利党略なのかですね、いろいろ中央からの圧力というか、これは強く感じるところありますよね。

森　避難計画についてはどんなふうに考えていますか？

大渕　いや、あのまさにそこは非常に重要で、2月の直近の議会で質問を知事にしたんですけど。

知事はどの時点で避難の実効性が担保されたと考えますか？ って言ったら、こう答えたんですよ。「県民の安心につながることが大切だ」っていうようなことを言ったんですよ。

一同　笑い

県民に信を問うとは

森　私はずっと花角さんの信を問うっていう表現は、普通の選挙の時に、公約の1つというか、他のものと混ぜこぜにして、シングルイシューにならないようにして、普通に選挙をやるんだって。信を問う、信を問うって言ってれば、どうとでも使えるからっていう、なんかね、ずるさが見えてたなって思ってるんですけど。

大渕　県民投票か出直し選挙ぐらいじゃなかったら、信を問うという言葉を使うべきではないですよ。

森　それはそうなんだけれども、そういうのをね、めちゃくちゃ無視してきたのが、自民党であり、自民党系の政治家じゃないんですか。

私はね、原発の避難計画っていうのは、絵に描いた餅だと思いますよ。

小林　全くその通りですね。

森　去年の能登半島地震を見ても、まず屋内退避できるほど、きちっと残っているかわからない一般住宅、道路が通行不能になる、大雪が降ってたら、難しいと思いますよ。（核の）ゴミの捨て場もないし、住民投票条例が仮に可決成立して県民投票が行われたらね。負けるっていう恐怖心??他の署名活動に比べてそんな気軽に集めたわけじゃない。各地区に責任者を？

小林　そうですね。市町村毎に請求代表責任者を決めて、受任者を決め、公選法に則りやってますので、本当にかなり厳密にやって。重複は一切ダメですし、18歳未満もダメですし、厳密にやりましたよね。皆さん趣旨はよく理解して、これは与野党（の支持者）を問わずですね、協力してくださった方が多かった。

森　皆さんよくリスクをご存知ですし、新潟県には電気を供給していない。もちろん雇用の場があったり、地域経済に貢献している部分はありますけれども、また再生可能エネルギーというか風力発電？

進む自然エネルギーへの転換

小林　村上、胎内沖で今年から工事が始まりますが、約70万キロワットですよね。東港でこれから工事が始まるバイオマスが約30万キロワットで、去年完成したのが5万キロワット。これでもう105万キロワット。原発一基分ですから。再エネへの転換っていうのは、これからどんどん進んでいくはずなんですね。

森　住民の皆さんの意思を示すことをクリアして初めて再稼働できるわけですが。

小林　意見を把握して、自分で決めて、それから方法を示しますという言い方なんですよ。ちょっとこれもやっぱり丁寧にそこまでやってくれればいいんですけれども。例えば請願で**「再稼働してほしいという請願を県議会で採択しました」と、こういう最悪のシナリオもあるかもしれない。**

……

森　今日は住民投票の話でしたけれども、日頃の議員の皆様方のご奮闘ぶりがよく分かりました。能登半島地震の時は新潟県も大きな被害で。特に新潟市西区。

大渕　石川の半島の過疎地、切ないところがいっぱいあるから分かるんですけど、新潟だけ同じ全壊・半壊なのに、石川はあんなにプラスアルファでっていうのがあって、今年の1月になって国保の免除も差がついたんですよ。ちょっと新潟からすると不公平感があるっていうのはね、また国政に戻られた際にはですね、よくよくお願いしたいなと思いますね。

小林　能登地震の知見が今回の新潟県の原子力防災に関しても、避難計画に関しても、全然生かされていないわけですよ。これはもう脆弱性が完全に露呈したわけです。特殊施設だったり、原子力防災対策指針だったり、これは国の方に県から今上げていくという立て付けになってるんですけど、国はそれはセットにはしませんと。でも、これクリアしないと、実は避難計画は実効性が担保されない。やっぱり国なんだと思うんですよね。規制委員会は避難計画の変更は必要ないというようなことを言ってるんです！

やっぱり新潟県の県民の命と暮らしを守る立場で、森さん、早く国会に戻って、ぜひともこの問題を早くクリアしていただきたいと思ってます。

土田　福島事故後にできた新規制基準の中に、避難計画が含まれてないっていうところは、国政でぜひ取り上げていただきたい課題で。避難計画は、国では細かいことはよくわからないから、自分たちのところで頑張って作ってねっていうところで避難計画を作るところからある種、立地自治体は負担を強いられているし、新潟県では柏崎刈羽で作られた電力は使われていない、リスクだけを押し付けられているという、いびつな構造について、国政でも議論してもらいたいので、ぜひ！

森　私も元々は町議会議員でしたので、「政治は生活」だと。より市民の皆さんに身近な政治家として、何かとご苦労も多いことかと思いますが、今、このままの日本を残して死ぬに死ねない、とにかく政治を変えるために一生懸命応援するから、頑張ってもらいたいと涙ながらに語ってくださる方が結構いらっしゃるんですよ。特に新潟県は世界最大の柏崎刈羽原発を抱えていて、非常に難しい対応が迫られておりますけれども、お互いに力を合わせて、また情報交換しながら頑張っていきましょう。今日は本当にお忙しい中、ありがとうございました。

土田竜吾

1988年5月、新潟県上越市生まれ。長野高専を卒業後、一般企業へ就職。2015年に上越市東本町で「八百屋の土田」を開業。森ゆうこ前参議院議員、うめたに守衆議院議員の秘書を務め、2023年新潟県議選に挑戦し初当選を果たす。

小林誠

1976年1月4日、新潟県魚沼市生まれ。日本福祉大学卒業後、会社員や介護福祉事業所を経て、国会議員秘書として約10年にわたり政策立案や地域活動に携わる。2015年新発田市議会議員選挙で初当選（1期）、2018年新発田市長選挙に挑戦。2019年から再び市議会議員を務め（2期）、2023年4月新潟県議会議員選挙で初当選。

大渕健

1972年11月21日、新潟県小千谷市の兼業農家に生まれる。十日町高校では県代表として全国高校駅伝に出場。明治大学農学部を卒業後、全国社会福祉協議会職員、都議会議員秘書、衆議院議員公設秘書を歴任。2003年新潟県議会議員選挙で初当選し、現在6期目。立憲民主党新潟県連幹事長も歴任。

2025.6.1　号外

立憲民主 RIKKEN MINSHU

立憲民主党 立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
三宅坂ビル7F
Tel. 03-3595-9988
Fax. 03-3595-9088

お問い合わせは 地域の立憲民主党へ

立憲民主党参議院比例第24総支部
総支部長 森ゆうこ
〒299-1902 千葉県安房郡鋸南町保田1322
TEL&FAX 0470-29-7504
E-mail ymf@mori-yuko.com